



令和4年9月

市民のみなさまへ

千葉県共同募金会 佐倉市支会
支会長 塚田 雅二社会福祉法人 佐倉市社会福祉協議会
会長 長谷川 大美

令和4年度赤い羽根共同募金運動について（お願い）

共同募金運動は、本年も10月1日から「じぶんの町を良くするしくみ」をキャッチフレーズに、全国一斉にスタートいたします。

共同募金は、地域福祉事業への活用及び福祉施設への配分を目的とした計画に基づいて、市町村ごとに目標額を立てて実施します。千葉県共同募金会佐倉市支会では、地域の自治会・町内会・区のみなさまにご協力をお願いし、募金活動に取り組んでおります。

市民のみなさまからお寄せいただいた貴重な浄財は、県内の福祉施設等の送迎用車両の整備、福祉団体・NPO活動・大規模災害時の準備金その他、社会福祉協議会が行う事業として、ささえあい活動、ふれあい食事サービス、福祉総合相談事業、広報発行事業など、私たちの住む地域の福祉活動に有効に活用されます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化し、先行きの見えない社会不安や経済情勢も一段と厳しい折ではございますが、みんなが社会の一員として支え合うしくみづくり、「たすけあい」による福祉活動推進のため、市民のみなさまのご理解を賜り、ぜひともご協力いただきますようお願い申し上げます。

また、共同募金運動についてより一層のご理解をいただくため、成り立ちや仕組み等についてご希望の地域には直接ご説明に伺いますので、ご連絡をお願い致します。

記

- | | |
|---------|---------------------|
| 1. 目標額 | 14,160,000円 |
| 2. 募金期間 | 令和4年10月1日～令和5年3月31日 |



令和4年度

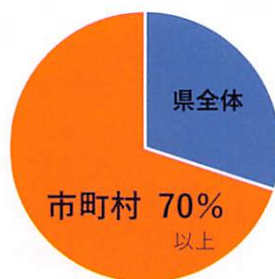
町内会長・自治会長ならびに町内会・自治会のみなさまへ

赤い羽根共同募金へのご協力のお願い

赤い羽根共同募金は、地域の高齢者や障害のある人、子どもたちなどに対するさまざまな地域福祉活動を支える「じぶんの町を良くするしくみ。」です。

共同募金の特徴は、皆さまから寄せられた募金が、募金をした県や市町村の福祉の推進など「じぶんの町をよくするために使われる」ことです。

助成額の70%以上は市町村へ
赤い羽根募金の70%・市町村歳末たすけあい募金の100%が市町村で活用されます



「困ったときはお互いさま」の精神からはじまった赤い羽根共同募金。こんな時だからこそ、この町を良くするために、困っている人たちを支えるために、「つながりをたやまない社会づくり」を目指して活動を続けています。



いつも赤い羽根共同募金にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。
今年も地域の皆さまの温かいご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

共同募金のフィールドは地域です。

共同募金会は、皆様の身近にある福祉の課題を解決するために、全市町村に共同募金の窓口を置き、募金活動と助成を行っています。

令和3年度の千葉県の助成総額約5億9千万円のうち、約4億3千万円は市町村の身近な福祉のために助成し、約1億6千万円は県域の福祉のために助成しました。

【配食サービスグループむぎの会（活動の様子）】



災害時にも「地域」の活動を支えます。

大規模災害に備えて、募金の一部を準備金として積み立てています。（積立限度は募金額の3%で3年間）

令和元年度房総半島台風でも災害ボランティアセンターの設置や、被災地で復旧・復興活動を行うボランティア団体の支援のために県内25市町村で3,659万円が活用されました。

また令和3年台風10号による大雨の際にも支援を行いました。

【令和元年台風15号19号災害支援】



コロナ禍でも「つながりをたやさない社会づくり」を推進します。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化による影響で、職を失い困窮している人や地域で孤立している人などが増え続けています。地域のための民間財源である共同募金は、コロナ禍でも地域で孤立や生きづらさを感じている人の存在に気づき、支えあい、つながり続ける地域づくりのための支援を行っています。

【子ども食堂芽ぶき（クリスマスイベントの様子）】



赤い羽根共同募金



問い合わせ先 千葉県共同募金会 佐倉市支会 TEL：043-4846033